

伝えて下さい、

三つの心を

ぐ どう  
**弘 道**

「伝えて下さい、み仏を敬う心を」

「伝えて下さい、ご先祖を大切に作る心を」

「伝えて下さい、お寺参りの心を」

～日蓮宗埼玉県檀信徒協議会～

日増しに暑さも加わる六月二十八日、平成十九年度日蓮宗埼玉県寺檀協議会が行田市の本法寺さまにおいて開催され、県内各地より教師・檀信徒あわせて約百名が参加しました。

午前十時、須加晃正宗務担当事務長による開会の辞が告げられると三枝泰英宗務所長を導師に宗務所職員のお上人がた出仕のもと法味言上が行われました。開会式の中で、檀信徒協議会の役職を退任された青木源吉氏（性蓮寺）、長谷川勇氏（妙福寺）、桜井昭夫氏（性蓮寺）に対し長年の功績を讃え表彰状と記念品が贈られ、三枝所長より各氏の慰労と共に、関根教沅前



会場 本法寺 本堂

平成十九年度  
寺檀協議会開催

宗務所長、穠山教雄前宗務副長の永年にわたる善導教化の法功が讃えられました。続いて三枝宗務所長、岸昭夫檀信徒協議会会長（東松山妙昌寺）、星光諭宗会議員からご挨拶を頂きました。福岡淳亮宗務副長からは新宗務所役職員が紹介されました。

寺檀協議会総会では岸会長が議長、藤平孝理事（善照寺）が副議長に選出され会議が進められました。会長による全国檀信徒協議会総会の報告や平成十八年度の事業・決算報告が行われ、承認されました。また役職の改選が行われ、馬場弘理事（本應寺）が新たに副会長に選任されました。新役員（四頁）による平成十九年度の事業計画・予算案が報告され承認されました。

また今年度の護法団参・統一信行会は総本山身延山久遠寺への参拝が予定されており、仁部前崇伝道担当事務長より主旨説明があり、参加が呼びかけられました。（四頁）

午後の部では、身延山大学教授の智寂坊住職池上要靖上人による『立正安国・お題目結縁運動く祖山總登詣の意義』と題した講演が行われました。ご遺文を解説しながら身延山登詣の重要性が説かれ、参加者は熱心



講演に熱心に聞き入る参加者

に聞き入りました。池上上人は「団参までの毎日、一行でも良いからご遺文を拝読して、大聖人の身延山に対する想いに、おひとりお一人が思いを馳せて欲しい」とお話し下さいました。

続いて行われた「唱題行」では、福岡宗務副長導師のもと僧侶、檀信徒のお題目が本法寺さまの本堂に大きく響きわたりました。閉会式では会場寺院の住職である須加晃仁上人のご挨拶を頂き、最後の挨拶に立った甘楽勝純協議員副議長は、信仰の相続の必要性についてお述べになり、「これからもお題目を唱えるという修行をしていきましょう」と話され、会を結ばれました。

新宗務所長挨拶

埼玉県宗務所長 三枝 泰英



合掌 このたび管区ご寺院教会結社各聖各位のご推挙を賜わり日蓮宗埼玉県宗務所長に就任いたしました。今後管区発展に全力で取り組む所存でございますが、各聖並びに各檀信徒の皆様のご理解ご協力なくしては宗門・埼玉宗務宗政の任を遂行する事ができません。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、いよいよ本年四月より新宗門運動「立正安国・お題目結縁運動」が実動スタートをいたしました。

昨今、世界恒久平和を願い、ドする日本社会に於いても、命の尊さを忘れ、子が親を、親が子の命を奪う事件が多く、さらには頻繁に人の命を奪うニュースが毎日のように報道されており、また自然破壊の影響

も伴い、頻発する地震や水災害なども多発しており、今後二十世紀を担う青少年の低年齢化事件等この様な多くの危機感を見逃す事はできません。

この事を宗祖日蓮大聖人が『立正安国論』をもって私達に伝え残して下さっております。「法華経第一」正法を立て、再度私達一人ひとりが無上の教えであるお題目を響きさせる事で「信仰の寸心を改め」実践することが私達の生きる社会が「三界は皆仏国土」となり「身もこれ安全」となって「心はこれ禅定」となり、ここに「安らかなる国土」家庭社会さらには世界人類の平和、幸福の実現を目指して宗門運動がスタートしました。

「立正安国・お題目結縁運動」を寺檀一体となり「異体同心」の信心をもって皆様と共に宗門運動を促進していきましょう。よろしくお願い申し上げます。

副会長就任挨拶

本愿寺檀徒 馬場 弘

六月十九日の役員会に於いて副会長にとのお話があり六月二十八日の寺檀協議会の総会にて承認されました。昨年度副会長

でありました岸篤さまがご逝去され川越地区でありましたので同じ川越でということと私の所で引き受けたのであります。ただ何もわからず浅学非才の若輩でありますので檀信徒の皆さまの温かいご協力をよろしくお願い申し上げます。また会長の岸昭夫さま、副会長の伊藤光男さまのご指導と役員の方々が仲良く日蓮宗の発展に協力していきたいと思っております。

十九年度の活動方針をよく理解し宗門運動『立正安国・お題目結縁運動』の基本的精神として社会活動としての「但行礼拝」と宗門活動としての「宗門再生」を檀信徒の一人として心がけるようにしたいと思います。



唱題行にも熱が入る

寺檀協議会に参加して

神戸妙昌寺檀徒 岸 邦雄

私は、サラリーマンのため朝は六時四十分には家を出て、夜は九時から十時頃に帰宅する生活を過ごしています。そのためお経やお題目を唱えることがあまりありません。今回、日蓮宗埼玉県寺檀協議会に参加して私が感じたことは、参加した皆さんがいかに信心しているか。そして、そのような皆さんとお題目を唱えることにより自分の心が落ち着くものであるかということが感じられました。私のように普段お題目を唱えることがないような方は多々いるかと思えます。でも日蓮宗のお寺を菩提寺とした家庭に生まれ育った方は、声に出さなくとも心の中ではお題目を唱えている方はたくさんいらっしゃると思います。そのことは、知らず知らずうちに日蓮聖人による教育ではないかと思われまます。

そして現在思うことは、自分が存在するのは先祖のおかげであり、その先祖が東松山の日蓮宗妙昌寺を菩提寺として私までつないできた禅（たすき）を私は次世代につないでいかなければと感じた一日でした。

# 弘教質問箱

Q、地方によってお盆の期間が違うのはどうしてなのでしょう

A、現在、お盆は大きく分けて大体、七月十三日〜十六日と八月十三日〜十六日で行うところが多いようです。そもそも、この日にちのズレは新暦（太陽暦）と旧暦（太陰太陽暦）からきております。

さて、今日のお盆では、ニュースでも「八月のお盆休み」という表現が定着し、お盆といえは八月とされている人も多いと思います。しかし、県内のお寺さんの様子を見ましても七月にやるところや八月にやるところなどさまざまです。全国的にみますと、「三つ」のお盆の時期

①「七月盆」	②「八月盆」	③「旧盆」
新暦	新暦	旧暦
七月十五日頃が中心	八月十五日頃が中心	旧暦の七月十五日頃が中心
東京 横浜 東北地方 等	全国的に多い。北海道 新潟 長野 関東南部 関西地方 等	関東北部 中国 四国 九州 南西諸島等

が見られます。「七月盆」「八月盆（月遅れ盆ともいう）」「旧盆」の三つがあります。  
【左表・講談社刊『盂蘭盆経』をもとに作成】

①新暦重視型（東京など） 新暦に変更し、「七月十五日」という以前のお盆の日取りはそのまま使った。結果として、以前より早い時期にお盆を迎える事になった。東京では、「天子様のお膝元」（天皇が同じ東京に在住）ということ、政府の決めた新暦に従おうという意識がつよかったようです。

②折衷型（関西ほか各地） 新暦に変更はするが、元のお盆の時期になるべく合わせるため、日取りを一ヶ月遅らせて（月遅れ）、「八月十五日」をお盆とした。いったんは新暦七月十五日にしたものの、「梅雨空のお盆ではないまいしまらね」ということで、八月にズラした地域も。

③旧暦重視型（南西諸島など） 新暦に変更せず、いままで通り「旧暦七月十五日」をお盆とした。いまもご先祖さまを特に大

事にすること、有名な沖縄は、先祖祭りの時期を変えることはできなかったようです。

この様に、時の移り変わりと同時に、地域の事情もあり、お盆の形式や日にちもやり方も、変わって参りましたが、ただ一つ、変わらないといえれば私たちがご先祖さまを思う心、これだけは子や孫へと変わらずに伝えたいものです。  
【左図・池上本門寺『池上』誌より許可転写】



## 平成19年度 護法団参・統一信行会のご案内 総本山身延山久遠寺参拝

日蓮宗埼玉県宗務所では、信仰の増進と埼玉県宗徒の団結と交流を深めるため「護法団参・統一信行会」を実施してまいりました。  
本年度は、4月1日より始まりました新・宗門運動『立正安国・お題目結縁運動』の基本精神として宗門より提唱されております『祖山総登詣』に基づき「総本山身延山久遠寺参拝」を行います。  
祖山（身延山久遠寺）に詣で、祖師（日蓮大聖人）の御前において信行の誓いを新たにすることを第一義に統一信行会・輪番法儀を行います。  
お知り合いの方々を一人でも多くお誘い下さり、奮って参加下さいますようご案内申し上げます。

日蓮宗埼玉県宗務所

期 日：10月29日（月）～10月30日（火） 1泊2日  
宿 泊：山梨県下部温泉郷「下部ホテル」  
申込締切：参加費を添えて、9月28日までに所属寺院・教会・結社へお申し込み下さい。  
参加費用：28,000円

▽会場の須加山本法寺さまは世界遺産に認められた石見銀山のある島根県大森の地に天正二年（一五七四）に開創なされたご寺院です。総会当日には境内にある蓮の花が咲き来山者を清々しく迎えてくれました。

▽寺檀協議会参加者の声から「埼玉管内の各ご寺院（教会・結社）からお一人づつ出て頂けるようにできないのだろうか…」



▽私どもがお唱えするお題目には「蓮華」の文字があります。乱れた時代・社会の中にあつて私たちが身・口・意（心）において題目を唱え実践し未だお題目のご縁のない方々へもすすめ、信仰することの尊さ、素晴らしさを伝えることが大切です。

### 埼玉県檀信徒協議会役員

役職	氏名	寺院名
顧問	吉田 卓治	常薫寺
会長	岸 昭夫	妙昌寺(神戸)
副会長	伊藤 光男	妙仙寺
副会長	馬場 弘	本應寺
理事	日坂 文男	寶藏寺
理事	藤平 孝	善照寺
理事	高梨 久雄	妙光寺(八潮)
理事	野川 幸一	妙福寺
理事	小林 台受	眞淨寺
理事	小久保 定良	上原寺
理事	小櫃 栄寿	妙光寺(八潮)
監事	荻原 用三	本法寺
監事	伊藤 高太郎	妙仙寺
監事	豊田 健之	妙光寺(八潮)
庶務会計	石古 宗彦	常薫寺
庶務会計	岸 邦雄	妙昌寺(神戸)
庶務会計	太田 賢一	妙昌寺(神戸)